

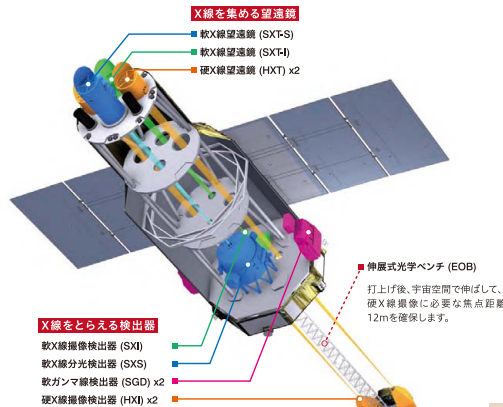
▶ 宇宙航空研究開発機構（JAXA）様から感謝状を授与

2016年2月に打ち上げられたX線天文衛星ASTRO-H「ひとみ」による天体観測性能の向上に、当社の分析評価技術が貢献したことが評価され、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）様から、感謝状が授与されました。

「ひとみ」に搭載された軟X線分光検出器（SXS）を用いて、ペルセウス座銀河団を観測したところ、銀河団中心部のガスの運動を世界ではじめて測定することに成功し、その研究成果は2016年7月7日付英国科学雑誌「Nature」に掲載されました。

当社はSXS冷却系の機械式冷凍機のアウトガスについての様々な分析評価を行い、その結果を反映して冷凍機の各種改良が行われました。

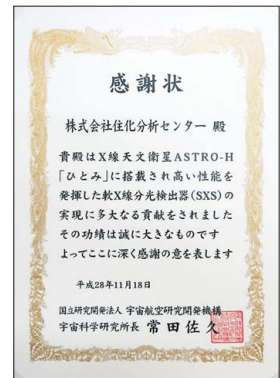
今回のSXSによる優れた測定結果は、冷凍機とその改良なくしては成しえな



X線天文衛星ASTRO-H「ひとみ」
 (JAXA HP ファン!ファン!JAXA!より)

かったものであるとJAXA様から高く評価され、感謝状を授与いただきました。

**p20 SCAS NOW で
 真空環境下で使用する部材の
 アウトガス評価技術を紹介**



受賞時の写真

▶ 蓄電池解析拠点の集約とソリューションビジネスの推進について

当社は、リチウムイオン電池、全固体電池などの蓄電池分野において先端的な研究開発に取り組まれているお客様を分析・評価技術で支援してまいりました。最近の研究では、電池特性が材料単体の性能だけでなく各材料間の相互作用や材料界面・ナノ構造とも大きく関係することが明らかになってきており、従来よりも詳細な分析を行い電池特性も含めて複合的に解析することが重要になってきております。

当社は2016年8月、蓄電池分野のサービス体制を一層強化するために、国内に分散していた電池解析の拠点を筑波ラボラトリーに集約いたしました。大阪ラボラトリーが得意とする *in situ* 技術（充放電しながらの顕微鏡観察やガス分析など）やリバースエンジニアリングと、筑波ラボラトリーが得意とする微細固体構造解析（最先端のTEM, SEM, SPM）や表面分析（GCIB-XPS, GCIB-TOF-SIMS）を同一拠点にす

ることで、材料のナノ構造から電池稼働状態での解析に至るまでの総合的評価をシームレスに解析する体制を整えました。

今回の拠点集約は、当社が従来の単なる受託分析サービスにとどまらず、お客様と共に課題解決を図るパートナーとして、ソリューションを提案させて頂くための重要な取り組みと考えております。今後も当社は、蓄電池分野にとどまらず、多様な分野で貢献できるよう研鑽を続けてまいります。



最新型分析電子顕微鏡 JEM-ARM200F



大気非曝露 解体・サンプリング用
 グローブボックス



大気非曝露 走査型プローブ顕微鏡
 (グローブボックス内設置)

分析サービス・製品に関するお問合せ

Web <http://www.scas.co.jp/inquiry/>
 ■ お問合せフォーム ■ 依頼票ダウンロード

電話 03-5689-1219

FAX 03-5689-1222

メール marketing@scas.co.jp

企業情報

Web <http://www.scas.co.jp/company>
 ■ 所在地案内 ■ グループ会社案内 など

SCASNEWS誌に関するお問合せ

メール scasnews@scas.co.jp

電話 06-6202-1807 FAX 06-6202-0116

SCAS NEWS 2017-I (通巻45号)

発行 2017.2.27

発行者 株式会社住化分析センター

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-6-14 住化不動産横堀ビル

編集担当 技術室

SCAS Sumika Chemical
 Analysis Service

はアインシュタインの疑問符です。彼のあくなき好奇心と探求心こそが、宇宙真理発見の原動力だったのかも知れません。

〔無断転載禁止〕